

## 平成18年度事業報告

奈良の都「平城京」の誕生から1300年という節目の年である西暦2010年を、百年に一度、千年に一度の機会と捉え、記念事業を奈良、関西のみならず国家的、国民的事業として展開し、過去と未来を結び、歴史と文化を多くの人々に発信していくため、平成18年2月の理事会において決定された「実施基本計画」に基づき、「国際コンベンション事業」「平城宮跡事業」「平城京・広域ネットワーク事業」「市民参加・文化創造事業」の各事業について実施計画の策定を行うなど具体的な推進に向けて取り組んだ。

平成18年度実施事業の主なものは、次のとおりである。

### 1. 記念事業の実施に向けた戦略的推進に関する事業

- ・ 「平城遷都1300年記念事業」のPRを行うとともに、国、自治体、関係団体・機関、企業をはじめ多様な主体への参画、参加協力を得るため、記念事業の「事業説明会」を開催した。
  - 東京会場 日 時：平成18年6月1日（木）16:00～18:00  
場 所：赤坂プリンスホテル（東京都港区）  
出席者：日本経済団体連合会等をはじめとする経済団体、関係団体・機関、企業、省庁、駐日外国公館、マスコミ関係者等 約400名
  - 奈良会場 日 時：平成18年6月8日（木）13:30～15:30  
場 所：なら100年会館（奈良市）  
出席者：経済団体、関係団体、企業、行政機関、マスコミ関係者等 約800名
  - 大阪会場 日 時：平成18年6月12日（月）16:30～18:30  
場 所：リーガロイヤルホテル（大阪市北区中之島）  
出席者：関西経済団体をはじめとする経済団体、関係団体、企業、行政機関、総領事館、マスコミ関係者等 約500名
- ・ その他、国、自治体、関係団体・機関、企業など多方面に、個別に参画、協力の働きかけを行った。

### 2. 個別事業の実施計画の策定に関する事業

#### （1）国際コンベンション事業

- ・ 「世界遺産・地球会議（仮称）」「世界の宗教者による平和のための集い」等の開催に向けて、ユネスコ等の関係機関との調整を進めた。
  - 平成18年8月26日から29日まで、京都国際会議場において開催された「第8回世界宗教者平和会議世界大会」の参加者の奈良視察を受入れ
    - 日 時：平成18年8月30日（水）
    - 視察先：薬師寺、東大寺、平城宮跡
    - 参加者：約15名

- ・国際フォーラム「世界遺産と文化交流」を開催した。  
日 時：平成18年11月4日（土）  
場 所：奈良県新公会堂（奈良市）  
内 容：ユネスコ世界遺産センター・アジア太平洋地域担当チーフのボッカルディ氏による講演等  
参加者：約500名
- ・その他、コンベンションの誘致に向けた取組みを進めた。

#### （2）平城宮跡事業

- ・歴史文化や世界遺産とともに生きる《豊かさ》《楽しさ》《美しさ》を提供できる魅力ある展示を実現するため「展示委員会」等において検討を進め、「展示基本計画」を作成した。
- ・催事事業の展開についても「催事基本計画」を策定した。

#### （3）広域ネットワーク事業

- ・関西・全国での事業連携を図るため、関西各府県企画担当部局や全国の平城京ゆかりの市町村等へ事業連携の働きかけを行った。
- ・イベントプロデューサー等の人材を活用した「ネットワークセンター」を設置し、奈良県内各地での多様なイベント展開を目指し、各地域への働きかけを実施した。  
設置日：平成18年9月1日  
ネットワークセンター長：林 信夫氏
- ・奈良イベント見本市「奈良まちおこし結び会」を開催した。  
開催日：平成18年12月2日（土）・3日（日）  
場 所：大神神社駐車場特設会場（奈良県桜井市）  
内 容：奈良県内のイベントの紹介  
参加者：10,000人
- ・県内公共博物館、美術館をはじめとして、連携した特別企画展の展開を検討した。
- ・「平城京パレード」について基本計画の策定に向けて検討を進めた。

#### （4）文化創造・市民参加事業

- ・「奈良クラシクス・プロジェクト」の実施計画の策定を進めるとともに、奈良クラシクス事業の具体的な展開に向けた取組みを進めた。
- ・市民参加促進の基本方針を策定するため、市民参加専門委員会を設置し、検討を開始した。  
設置日：平成18年11月8日  
委 員：村上良雄委員長ほか7名
- ・文化ボランティアの育成のための「奈良2010年塾」を運営した。  
講座の運営  
開塾式：平成18年7月22日（土）  
講座等：基礎・専門講座等（約42コマ） 第3期生48名  
活動成果発表「シカ・フェスタ」  
開催日：平成19年3月21日（水・祝）  
場 所：奈良公園登大路園地  
内 容：クリーンテーリング、草上コンサートほか  
参加者：約4,500人  
セカンドステージ（約34コマ） 第2期生23名  
塾の事業実施による首都圏情報発信～『初風・書初め会』【はつかぜ・かきぞめえ】  
開催日：平成19年2月4日（日曜日） 13:00～  
場 所：奈良県代官山iスタジオ（東京都渋谷区恵比寿西）  
内 容：奈良で大文字送り火の際に配られる大うちわに、思い思いの言葉を書初め  
公開審査員 ゲージツ家 KUMA(篠原勝之)氏、書家 紫舟氏

### 3. 平城宮跡事業の会場計画に関する事業

#### (1) 会場基本計画の策定に向けた検討

- ・会場基本計画の策定に向け、平城宮跡内の文化財や景観を損なうことのないよう、文化庁と協議を継続的に実施し、検討を進めた。
- ・地下遺構の保護や歴史的景観との調和に十分に配慮した会場基本計画とするため、専門家による委員会を設置し、提言を受けた。

「会場施設構造検討委員会」による提言

役割：遺構や遺物の保護に必要となる具体的な配慮事項等について専門的な見地から検討し、その結果を提言すること。

設置日：平成18年 5月 1日

委員：大西有三委員長ほか4名

提言日：平成18年12月21日

「会場施設景観検討委員会」による提言

役割：歴史的景観との調和を図るために必要な景観のあり方や具体的な配慮事項等について専門的な見地から検討し、その結果を提言すること。

設置日：平成18年 7月11日

委員：鈴木嘉吉委員長ほか3名

提言日：平成18年12月25日

- ・文化財保護法に基づく平城宮跡の現状変更許可申請等に向けて準備作業を進めた。
- ・平城京体感モニュメント等整備計画の策定の検討を進めた。

#### (2) 会場運営の基本計画の策定

- ・会場サービス、警備・警護、消防・防災、医療・衛生、清掃などの会場運営に関する基本計画を策定した。
- ・交通アクセス・会場案内・イベント等の来場者向け情報システム、入退場システム、運営後方イントラネットなどの内容を検討した。
- ・ICT関連の有識者フォーラムを開催し、平城宮跡事業への先端技術活用を目指した技術提案書を取りまとめた。

#### (3) 来場者輸送計画の検討

- ・平城宮跡近傍の仮プラットホームについて、近鉄と協議しながら、技術的検討を進めた。
- ・県交通計画部会と連携しながら、パーク&バスライド方式の導入等の調査、検討を進めた。
- ・バス・運行等について、バス事業者と協議を行った。
- ・近鉄西大寺駅からの歩行者動線について、奈良市、県交通計画部会と検討を行った。

### 4. 広報宣伝・マーケティングに関する事業

#### (1) 広報基本計画の策定

- ・効果的、効率的に記念事業の周知、機運醸成を図っていくため、様々な広報手段、手法の適性等の整理、検討を行い、2010年までの広報宣伝実施計画を作成した。

#### (2) 広報宣伝事業

- ・マスコットキャラクターの制作等、VI戦略を展開した。
- ・奈良県広報紙の活用により機運醸成を図った。  
「県政だより奈良」において「歴史を考えよう」をテーマにエッセーを掲載した。  
年7回、A4版1/2頁、カラー

- ・「代官山 i スタジオ」を活用した首都圏における情報発信、広報宣伝を行うため、「nara cafe」を開催した。

日 時：平成18年5月3日（水）～15日（月）

内 容：奈良の魅力を大型パネルでビジュアルで紹介

奈良の食材を使った本格的なカフェを期間限定でオープン

- ・「平城京フォーラム」を開催した。

「平城京フォーラム in 東京」の開催

日 時：平成18年10月21日（土）

場 所：昭和女子大学・人見記念講堂（東京都世田谷区）

テーマ：「天平文化絢爛」

内 容：漫画家の里中満智子氏らによる講演、パネルディスカッションなど

参加者：約1,900人

「平城京フォーラム in 大阪」の開催

日 時：平成18年9月30日（土）

場 所：大阪国際会議場・メインホール（大阪市北区）

テーマ：「風月同天ー中国の都から平城京へー」

内 容：音楽家の谷村新司氏らによる鼎談など

参加者：約1,400人

「平城京フォーラム in 奈良」の開催

奈良会場：平成18年6月25日（日） なら100年会館・中ホール（奈良市）

橿原会場：平成18年7月8日（土） 奈良県社会福祉総合センター・大ホール（橿原市）

テ ー マ：「古くて新しい奈良を探そう」

内 容：故 木村尚三郎総合プロデューサーをコーディネーターに、パネルディスカッションなど

参加者：約900人

- ・小中学生を対象に広報宣伝を図るため、まんが読本「平城京を楽しもう」を作成した。

内 容：小中学生向けに平城京とその時代をまんがでわかりやすく紹介

仕 様：A4版 フルカラー 16ページ

発 行 数：80,000部

配 布 等：県内小学校6年生、中学校1年生に配布のほか、県内書店で販売

- ・記念事業の外国語リーフレットを発行した。

英語版、中国語簡体字版、中国語繁体字版、韓国語版

- ・その他、出前トークや、各団体からの要請により、講演、ブース出展を行うなど記念事業のPRを実施した。

### （3）外客誘致等のための海外広報事業の展開

UCLAシンポジウムにおいて記念事業のPRと奈良まほろば大使の委嘱を行った。

日 時：平成18年4月21日（金）

場 所：UCLA（カリフォルニア大学ロスアンゼルス校）

内 容：・「古代首都の形成：奈良」をテーマにしたシンポジウムにおいて記念事業協会理事の中西進京都市立芸術大学学長が万葉集に係る研究成果を発表

・平城遷都1300年記念事業について実施基本計画に基づき説明

・シンポジウムの運営責任者であり、京都大客員教授の経歴を持つマイケル・マルラUCLA教授に「奈良まほろば大使」を委嘱

音楽家の城之内ミサ氏の「UNESCO Artist for Peace」任命式、「平城遷都1300年記念事業音楽広報大使」委嘱式を行った。

UNESCOの松浦事務局長のご臨席の下、UNESCOから音楽家城之内ミサ氏のUNESCO Artist for Peaceの任命式が開催された。

平城遷都1300年記念事業協会からも「平城遷都1300年記念事業音楽広報大使」を委嘱

日 時：平成18年8月21日（月）

場 所：帝国ホテル東京（東京都千代田区）

国とのビジット・ジャパン・キャンペーン地域連携・共同事業として、平城京フォーラム等を開催した。（再掲）

日 時：平成18年9月30日（土）

場 所：大阪国際会議場・メインホールほか

内 容：中国の報道関係者等の招聘及びエクスカージョンに実施

国のビジット・ジャパン・キャンペーン実施本部事業（日中韓共同出展事業）において記念事業のPR活動を行った。

・国土交通省を中心とした「グローバル観光戦略」の一つであるビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、VJC実施本部が「シートレード・クルーズ・ SHIPPING・コンベンション」に併催するシートレードショーにおいて日中韓共同で出展、事業をPR

日 時：平成19年3月12日（月）～15日（木）

場 所：マイアミビーチ・コンベンションセンター（米国・マイアミ州）

内 容：共同リーフレットの配布や1300年記念事業の広報周知活動を実施

#### （4）マーケティング事業

- ・観客誘致の推進のため、入場券販売計画等の策定検討を行った。

## 5．協会の運営等に関する事業

- ・第2回理事会の開催

日 時：平成18年4月28日（金）

場 所：奈良県新公会堂（奈良市春日野町）

主な内容：・平成17年度事業報告（決算）および平成18年度事業計画（予算）の承認  
・シンボルマークの制定

- ・平城宮跡第一次大極殿正殿復原現場の特別公開（第4回）

日 時：平成18年4月28日（金）～30日（日）

場 所：平城宮跡内 大極殿正殿復原工事現場（奈良市佐紀町）

内 容：復原工事現場の公開、記念講演会の開催等

- ・協会事務局の運営